



【大学連携講座Ⅰ（機械系）】

《目的》

普段の学校の授業では受けることのできない大学教授等による講演を通して、最新の技術や高度な技術への理解を深めるとともに、学ぶ意欲を高める。

《実施内容》

愛媛大学理工学研究科黄木景二 教授による
事前の質疑応答・講義・グループワーク

《取組》

○ 日 時 平成29年12月14日(木)
14:00～15:40

○ 場 所 今治工業高等学校 大会議室

○ 対 象 機械造船科1年生 37名

○ 講 義 「機械工学の魅力」

- ・機械工学を支える六つの学問(材料力学、加工学、流体力学 等)
- ・アルキメデスの原理、大型船用エンジン 等

○ グループワーク「夢の技術・夢の機械」

夢の自動車、夢の自転車、夢の船、夢のロボット等
についての班別協議・生徒発表・まとめの講義



《生徒の感想・学んだこと》

- ・CFRPは、鉄より軽くてつかれにくい素晴らしい材料だと思いました。また、CFRPが僕たちの将来に大きく関わってくる気がしました。
- ・これが普及すれば、自然に優しくエコにもつながるので、もっと普及してほしいと思いました。
- ・グループワークで、全ての班が異なる内容の発表をしており、色々な機械を紹介していたことと、各発表に対して黄木先生から評価していただいたことが印象に残っています。
- ・興味・関心のあることを、自分自身で調べたりグループで意見を出し合ったりすることが、とても大切だということが分かりました。

《SPH推進アドバイザー岡田さんのコメント》

- ・将来、どの様な機械ができるとよいか各班で協議し、発表した。ユニークな案もあり、生徒は創造する楽しさを味わえたのではないと思う。
- ・夢となるアイデアと基礎となる知識の融合が工学の勉強につながることを学べた。先端技術を学び、開発のアイデアはヒントと創造力であることを理解した。

